

## 平成30年度 事業計画

我が国経済は、平成24年11月を底に回復基調が続き、今の景気回復は、バブル景気（昭和61年～平成3年）を抜き、戦後3番目の長さとなった。これは政府の「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」により、企業の稼ぐ力が高まり、企業収益が過去最高水準となる中で、雇用・所得環境が改善し、所得の増加が消費や投資の拡大につながるという「経済の好循環」が着実に回り始めているためであり、労働市場では需給が引き締まりつつあり、人手不足の状況はバブル期並みとなっている。

北陸地区でも人手不足はさらに深刻化しており、この危機を背景に定年を延長する動きが広がっている。その結果、シルバーへの入会者が減少しているのは何とも皮肉であるが、それはとりもなおさず、高齢者が即戦力の労働力として期待されていることにほかならない。

このような状況のなか、近年の超人手不足を背景に毎年最低賃金が上昇し、市場価格と比べて「より良い仕事を、手ごろな料金で」というシルバー事業の魅力の一つが失われつつある。加えて慢性的な会員不足も相まって、契約中の仕事の継続すら立ちいかなくなるケースや、技能を持った会員の減少、希望就業職種の偏り等々、問題山積である。

今年、設立30周年という節目の年を迎えるにあたり、いま一度、原点に立ち返り、役職員はもとより会員一人ひとりが改めて「自主・自立、共働・共助」の基本理念を認識し、新規入会者を増やし、シルバー事業の活性化と活力ある地域社会づくりに貢献していくこととしたい。

### 事業実施計画

#### 1 雇用によらない就業機会の提供事業

##### (1) 受託事業

センターの受注した仕事（請負または委任）を、会員に提供する。

##### (2) 独自事業

会員の働く機会を広げるため、会員の自主性、自発性を尊重し、会員グループの創意と工夫により、会員自らの運営を基本に実施する。

##### ① 剪定枝葉処理事業（通称：チップ事業）

・ 剪定班と連携して剪定枝葉の持ち込みを増やし、土壌改良材の増量を図る。

##### ② eco 農園事業

- ・野菜は、メロンとトウモロコシを基幹作物とし、通年栽培できるハウスの利点を生かして多様な野菜を栽培していく。
  - ・自然栽培米の栽培
- ③地域が求める新たな独自事業の発掘

## 2 雇用による就業機会の提供事業

### (1) 有料職業紹介事業

「臨時的・短期的・軽易な業務に係る就業」を希望する企業の求人を、就職希望の会員及び会員以外の地域の高齢者へ職業紹介する。

### (2) 労働者派遣事業

会員に対して労働者派遣による就業機会の提供を行う。

## 3 講習・研修事業

会員の資質向上に資するための講習会を開催する。

### (1) 剪定技能講習

減少する剪定班員の養成のため、剪定技能講習を実施し、知識や技能を学ぶ。

### (2) 安全・健康講習

熱中症や毒虫対策はもとより、就業中の事故による応急処置について知識や技能を学ぶ。

### (3) 安全運転講習の受講奨励 ※他団体主催

会員の安全運転に対する技能向上と意識啓発のため、石川県交通安全協会連合会の実施する「シルバードライビングドッグ講習」の参加を奨励し、団体受講する。

## 4 技能講習等に係る受託事業

石川県シルバー人材センター連合会主催の各種技能講習会を開催し、働く意欲のある会員の就業を支援する。

### (1) 公園施設管理補助スタッフ養成講習

公共施設及び企業他の公園や施設等の管理補助スタッフを養成する。

#### ①日程 6月開講予定

5日間（樹木・花壇管理、刈払機取扱特別講習、接遇マナー講習等）

#### ②内容 公園等における緑化管理従事者に必要な固有の知識・能力を付与するとともに、剪定や刈払機の知識や技能を学ぶ。

### (2) 介護施設調理補助スタッフ養成講習

人手不足分野である介護施設での調理補助スタッフを養成する。

- ①日程 10月開講予定  
3日間（介護・調理2日間、セミナー1日間）
- ②内容 介護従事者に必要な固有の知識・能力を付与するとともに、介護施設での調理補助スタッフとして就業するために必要な知識や調理法を学ぶ。

## 5 上記1～4の事業及びその他の社会活動を推進するための諸活動事業

事業を推進するにあたっては、労働関係法規及び「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」を厳正に遵守する。

### (1) 就業開拓事業

会員の経験、知識、技術、技能等を活かした仕事を確保し提供するため、役員、職員、会員が一体となって機動的に就業開拓活動を展開する。

- ① 理事、就業開拓委員、職員の合同チームによる企業等への訪問活動
- ② 広報媒体（新聞折込チラシ）を利用した新規受注獲得活動
- ③ 地域が求める新たな独自事業の発掘 ※再掲

### (2) 安全・適正就業事業

会員は、自らの健康状態や能力に応じた仕事を選択し、健康の維持・安全の確保を図りつつ、その仕事を遂行する。その実現に資するため、下記の事業を行う。

- ① 安全・適正就業推進計画の策定
- ② 安全パトロールの実施
- ③ 安全パトロールの結果分析の公表と安全意識の啓発
- ④ 死傷事故防止のため、安全防護具（ヘルメットや安全ベルト等）の着用を奨励
- ⑤ 安全・健康講習の実施 ※再掲
- ⑥ 機関紙「安全だより」を発行し、会員の安全意識と健康管理の啓発

### (3) 普及啓発事業

シルバー事業の基本的な理念及び仕組みを広くかつ正しく地域社会に浸透させることにより会員数を増やすとともに、会員自身の本事業に対する意識を啓発し、会員相互の連帯意識を高めるために下記の事業を行う。

- ① 毎週水曜日に入会者説明会を開催
- ② 会員一人ひとりの協力により、シルバー事業のPRに努め、新会員の勧誘活動を実施
- ③ 会員向け機関紙「シルバーだより」、「安全だより」の発行（年4回発行）
- ④ ホームページ、フェイスブックなどによる情報発信の充実
- ⑤ 報道機関（新聞、ケーブルテレビ等）への情報提供、市広報紙への掲載

- ⑥ 市民へのPRと、会員参加により連帯意識を高めるため、シルバーフェスタを開催
- ⑦ シルバー事業のPRのため、市内のイベント等へ参加
- ⑧ 全国一斉普及啓発促進月間(10月)の行事として、多くの会員に参加を促して清掃ボランティア活動を実施

#### (5) 第4次中期事業計画の策定

今年度で第3次中期事業計画（平成26年度～平成30年度）が完了することから、新たな活動指針となる第4次中期事業計画を策定する。

#### (6) シルバー設立30周年記念事業

平成30年5月に実施する記念事業を円滑に行う。

#### (7) 交流研修事業

シルバー事業全般にわたる理解と専門知識の習得により、事業の活性化と適正な運営を確保するため、役職員及び職域班等を対象とした各種研修会を実施する。また、関係団体等の開催する各種研修会へ参加する。

#### (8) 職域班の活性化

会員同士が助け合いながら同じ仕事をする職域班の連携強化を図るとともに、後継者の発掘と育成を行う。

### 〈法人事業〉

#### 1 総会及び会議の開催

総会及び理事会等定款に定める会議のほか、センター事業を円滑に推進するために必要な各種会議を開催する。

- (1) 定時総会（1回）
- (2) 理事会及び運営委員会（6回以上）
- (3) 理事会専門委員会（随時）
- (4) その他

#### 2 事業運営に係る進捗管理

平成25年度に策定した「第3次中期事業計画」に基づき事業の推進を図る中で、平成29年度事業の実施状況の点検・評価を行い、引き続いて事業運営の進捗管理を行う。

#### 3 公益法人制度への対応

公益社団法人として円滑な事務ができるように、石川県シルバー人材センター連合会や石川県公益認定等審議会事務局等の指導・助言を得ながら事務作業を行う。